臺灣日日新報 夕刊 昭和十二年十二月二十日 第一種郵便物認可 臺灣新民報 十一月二十日

蘇州城を占領

勇躍！各部隊突入

【唯亭鎭二十日發同盟】富士井部隊は十九日午前一時五十分蘇州城に突入其の一角を占據した

【上海二十日發同盟至急報】公報に接せざるも十九日未明蘇州城に突入した富士井部隊に續き伊佐、下枝、脇坂の諸部隊も戰果を擴張しつゝ、城内に突入殘敵掃蕩に移り隨所に市街戰を演じつつ十九日午前十一時五十分之を完全に占領した

赤軍を待機せしめ 支那に抗戰を强要

直接交涉せば新疆を占領す

ソ聯愈よ本性を現す

【ベルリン十九日發同盟】ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン紙ベルリン特派員アングリッフ紙十九日の紙上で獨逸からの觀測として「ソ聯邦外交人民委員部は對日交涉開始の用意ある旨の意向を通達した」旨の重大報道を報じてゐる、觀測筋の談左の通り

南京駐在ソ聯大使館は遠からず支那政府外交部と重要協議を遂げたが右協議に於いてソ聯側は次の如き頗る强硬なる意向を表明した

一、支那政府が九國條約會議に依らずして日本政府と直接交涉することは許さない

一、支那政府が右要求に應じない場合ソ聯軍は新疆省全領域を占領しよう、カザック共和國のアルマ・アタには既にこれがためブリュッヘル元帥指揮の下に赤軍五萬と飛行機多數を待機せしめてゐる

一、これに反し支那が依然對日交戰を繼續するに於いてはソ聯政府は進んで支那に援助を與へよう

一、この場合ブリュッヘル元帥は日本軍戰線を內蒙就中綏遠に於いて打破する計畫であると

九國條約會議は 完全に失敗した

下院に於て 佛外相が確認

【パリ十九日發同盟】フランス外相デルボス氏は十九日午前に於いて左の如く言明した

九國條約國會議は日支紛爭解決のため種々努力を拂つたが總て失敗に歸した、この上は數日中に問題を國際聯盟に移牒して更めて新方策を講ずる必要がある、而して聯盟で何等かの行動に出る場合には滿場一致の贊成を必要とする譯であるがフランス政府は聯盟に對し進んで提案をなす用意がある

蔣介石の失脚を 反蔣派が待望

連戰連敗に直系軍も動搖し 沒落は目睫に迫る

嘉興城を完全に占領す

南潯をも占領

【上海十九日發同盟】上海第十九日級九時發報 片岡、野副、小堺、齋山各部隊及〇〇部隊は西北方面矢崎、山田の各部隊は東北面より嘉興城に對し數日來の攻略を續けて居たが十九日午前遂に同城を完全に占領し前に同日午前八時半頃迄に同城を占領し、從つて本部隊は嘉興西北方約三千メートルの南岸南潯を占領せり

勳殊の隊部谷花

電力國家管理案 來議會には提出

小委員會の原案通りに採擇

調査會席上 永井遞相言明

昆城湖を横斷し 奇襲作戰に成功

常熟 蘇州間 軍事交通路遮斷

日本軍の大勝を 伊大使が絶讚

松井司令官と會談

浮標のごとき女

(143)

尾崎士郎作

梁川剛一畫

臺灣名酒 楓白鹿

ムターレソンメ
世界之家庭藥
もしもやけの手当は今のうちから
顔 手 足
霜をみてしもやけのお手當はおそいです
今のうちから外に出てゐるお肌を特にお大切に！
メンソレータムの御愛用！
特効 肌あれ あかぎれ 外傷 火傷 凍傷 霜焼 ひび 汗疹 お化粧下
價 二十五匁 四十五匁 九十匁 一圓八十錢
近江セーブル株式會社
日本メンソレータム本舗

山西方面の敗殘兵
再起望みなし
彈藥糧食の補給絶ゆ

【天津二十日發】山西方面の敗殘支那兵は最近寒氣酷烈なるも冬服外套の支給を受けず加ふるに彈藥糧食の補給の途絶え一師の兵力僅か一千（小銃六百）に過ざるものある狀況にして前線の士氣全く沮喪し再起の望なき爲め中央に對し頻々と援助を要求してゐる然に中央に於ては南京撤退の混雜及び資材缺乏のため北支方面への補給は到底望み難く僅かに張家口と後日の補給約束とにて」時を糊塗し前線部隊への給料及び軍費の發送は全く杜絶してゐる

負傷しみの自己宣傳に
外人記者見放す
デーリ・メール記者談

【漢口二十日發同盟】英國デーリ・メール紙特派員ピーター・フレミング氏は十九日夕漢口へ入着同地にてデーリ・メールの特派員ピーター・ヴィンケル特派員と會見したが左の如く語る

【漢口二十日發本社特電】上海デーリ・メール紙特派員ピーター・フレミング氏は十九日夕漢口へ入着同地にてデーリ・メールの特派員ピーター・ヴィンケル特派員と會見したが左の如く語る

約一月日支兩軍に依つて占領されたが英國民の保護の爲め殘留した、日本當局は支那正規の爲に戰つてゐるが支那けんの爲に戰つてゐるのか判斷に苦しんでゐる、南京では未だ英軍と會つたが相變らず負傷しみの自己宣傳で逆に日本記者團から非難されてゐる始末だつた、自分はこれから香港の英を發ち歸國の途に就く筈だ

生田利之少佐
名譽の戰死を遂ぐ
軍國・譽れの家の子
中川一等兵戰死
涙も見せず母、健氣に語る

【○○二十日發同盟】永續部隊所屬陸軍步兵少佐 生田利之（三七、高知縣出身）は名譽の戰死を遂げた旨十九日原隊に入電あつた

【基隆電話】基隆市誉れの軍國の母中川サヨさんの三男中川昇一等兵（二）は十月十五日北支○○で壯烈な戰死をとげた旨十九日夜公電が入つた中川君は本籍山口縣旭町出身で昭和十年現役兵として入營、翌年一等兵に進級、昨年十月應召、北支○○部隊に入營、今回の事變で兄弟揃つて北支に出征したものである、出征の際不具の父老いたる母の頼りない弟妹を思ひやつて勇壯な手紙を殘して行つたが、その手紙は校長先生の手から學友一同に讀み聞かされ、一同感激の涙に咽んだ、校長先生は「中川君は實に立派な軍人精神を發揮して戰死したものである、君等も中川君に負けないやうに勉強せよ」と訓示した、中川君は小學校時代から學業優秀、操行方正、體格も立派で、軍人として將來を嘱望されてゐた

常熟の戰鬪で
湊准尉壯烈な戰死

【常熟にて十九日發】常熟攻略戰に於て壯烈なる戰死を遂げた旨非公式の入電があつた

猪瀬曹長が戰傷死
○○陸軍病院で療養中

佐賀部隊に屬し上海戰線にあつて奮戰した猪瀬一步兵曹長は九月二十一日名譽の負傷、その後○○陸軍病院で療養中遂に十一月九日死亡した、同部隊に入營があつた因みに遺族は山口縣岩國市通津町二四六猪瀬幸助氏である

分の優しい生活も顧みず送金して來た金をそのまま國防獻金としてしたほどの涙なくしてはきかれない數々の逸話がある

二十日朝、日新聞七ノ一〇の自宅を訪へばオオさんは一瀦の涙も見せず健氣に語る

羅店鎭の戰傷者
前報戰死者氏名を訂正

部隊名△步一中原多義北川傳藏都留榮

二十日朝報上陸發の佐賀部隊警れの戰死者氏名中、中原多一等兵以下十九名は戰傷者にて戰死者にあらず、右は其後發表の戰傷者名簿の中に網れ入つた爲めの重大過失にして出征軍人家族の方々に一時的なりとも心痛を與はしたる段深く陳謝の意を表する次第である、尙次に戰死者に非ざる兵士の氏名を改めて掲げ前報を訂正する

△步一中原多義北川傳藏都留榮

本望です
生田少佐の母上語る

入營する際長い髮の毛を刈つたのを持つ母お母さんがこれは私の形見だから保存して下さいと言つて出て行つたほどですから挽て死は覺悟してゐたことです

本望です　せう、出征してから私に一度、發てから私一家の世話をしてくださつた市城宇田さんに二三度病れも一死報國の名に惱んだ勇壯な手紙を發つて來ました、私の息子が三人二家の名譽であり私の誇とする所です、不幸にも父は不具の身で働けず私は家計費をして日々を送つて來てゐますが國の爲めとも思へば決して苦にもなりません（中川一等兵）

比島附近の暴風雨
邦人漁船が四隻沈沒

【マニラ十九日發同盟】比島ヴィサヤス諸島一帶は十九日朝來猛烈な暴風雨に襲はれ死者四十六、行方不明多數を出した所轄沿岸航行中の日本漁船四隻も遂に消息を絶つた

一社會事業記念日に
臺灣婦人慈善會が慰問

臺灣婦人慈善會では毎年社會事業紀念日に當り、同會より補助金を交付して其事業の助成を圖りつつある關係上其他を訪ひ慰問を行ふことゝなつてゐるが、本年も廿日の紀念日に同會理事たる水越夫人外有志夫人等打揃つて鐵道保育園、台北支那風俗所、慰問養老園、普

少年バスに觸れて卽死

【新竹電話】台灣製糖株式會社所有のバス三六〇號を運轉手陳慶安が運轉中二十日午前七時頃新竹州竹東郡竹東街東門二丁目先路上に於て同街東門二丁目一番地の三男陳阿火（七）が突然飛出し來つたバスに觸れ卽死した

動物慰靈祭
台北で盛大に擧行

【新竹電話】新竹州では全島に魁けて新竹動物園に於て動物慰靈祭を擧行することゝなつたが、其の第一回は十九日午前十時から同園内に於て盛大に擧行した、當日は朝來の雨も上つて秋晴れの好天氣に惠まれ參拜者數百名に達し、同園の動物慰靈祭は例年に比し非常な盛況を呈した

京阪神を中心とし
廣範圍の防空演習
一府十八縣下に亙る

（神戸二十日發本社支局特電）日本の産業交通の中樞たる京阪神を中心に中國、四國二府十八縣に亙る廣範圍の防空演習が二十日より三十日までの間の五日間不意打ちに行はれる、これは中部防衛司令部最初の大規模なもので全く戰時體制訓練だ

新竹の理髮組合員が
軍隊に散髮サービス
湖口演習場へ赴き

【新竹電話】新竹市內各人理髮組合員八名は二十日午前七時新竹驛發の列車にて湖口演習場へ赴き○○隊の慰問サービスを行つた、尙初演習場では兵士二人第十一線位から兩耳の知く餅る。

【新竹電話】新竹市內各人理髮組合員八名は二十日午前七時新竹驛發の列車にて湖口演習場へ赴き○○隊の慰問サービスを行つた、尙初演習場では兵士二人第十一線位から兩耳の知く餅る。

十六歳の
本島人少女が二人
篤志看護婦を願出づ
軍司令部は感激して手續

台南州新營郡後壁庄後壁街

六二振袖姿紳仕振り月里へ、ごんさんと同一〇三郡役所各社會課代表へ、ごんさんの二人は台南に生れた兩C有志さんと感激した二〇歳前後の局が開戰以來の戰況の報告あるからこの戰線看護婦として志望者を募つた所、早速二人は父母に願出たので當司令部でも感心にたへず御國の爲に名譽の身許を　郡役所に照會した所手紙の通り孝行娘たる少女の由にて何等特別の取はからひで二人の希望を叶へるべく呉下幸顧中である、呉下は呉さんと同さんの兩親と手紙の遣り取りをなしいたがおう人のみとりになさこにはかに風の寒くなりぬる　黃氏　旦

國の爲戰の爲に立つ人に　仇たす病ふさぎてもかた　楊　氏　齡

涼しい秋の候となりました折合　同令官閣下

和田司令官の
視察日程

【屏六十九日發】和田馬公要港部司令官は二十日午前八時半發の驅逐艦「追風」にて左の如く視察の爲め二十二日夜定期航路風山丸で發二十二日朝馬公着、午前十時廳舍、高雄海軍航空隊、午後一時半高雄要港部、午後三時半陸軍飛行場、午後四時半高雄州廳、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十四日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十五日朝市役所、午後零時十分着、高雄海軍航空隊、午後零時四十分發、午後二時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十六日朝市役所、午前十時二十分着、高雄海軍航空隊、午後零時四十分發、午後二時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十七日午前九時半高雄發、午後零時四十分着、高雄海軍航空隊、午後二時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、五十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、六十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、七十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、八十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、九十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、百日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、

賞金を獻納
三井丁團から

十九日午後臺銀グランドで行はれた北支派遣軍慰問三井丁團競技大會で優勝した第一位方面軍司令官賞金一千圓、第二位方面軍司令官賞金五百圓、第三位方面軍司令官賞金三百圓の各團の賞金全額第一位方面軍司令官賞金五百圓、第二位方面軍司令官賞金三百圓、第三位方面軍司令官賞金二百圓、第四位方面軍司令官賞金一百圓、第五位方面軍司令官賞金五十圓、第六位方面軍司令官賞金三十圓、第七位方面軍司令官賞金二十圓、第八位方面軍司令官賞金十圓、第九位方面軍司令官賞金五圓、第十位方面軍司令官賞金三圓、第十一位方面軍司令官賞金二圓、第十二位方面軍司令官賞金一圓、第十三位方面軍司令官賞金五十錢、第十四位方面軍司令官賞金三十錢、第十五位方面軍司令官賞金二十錢、第十六位方面軍司令官賞金十錢、第十七位方面軍司令官賞金五錢、第十八位方面軍司令官賞金三錢、第十九位方面軍司令官賞金二錢、第二十位方面軍司令官賞金一錢、第二十一位方面軍司令官賞金五厘、第二十二位方面軍司令官賞金三厘、第二十三位方面軍司令官賞金二厘、第二十四位方面軍司令官賞金一厘、第二十五位方面軍司令官賞金五毛、第二十六位方面軍司令官賞金三毛、第二十七位方面軍司令官賞金二毛、第二十八位方面軍司令官賞金一毛、第二十九位方面軍司令官賞金五厘、第三十位方面軍司令官賞金三厘、第三十一位方面軍司令官賞金二厘、第三十二位方面軍司令官賞金一厘、第三十三位方面軍司令官賞金五毛、第三十四位方面軍司令官賞金三毛、第三十五位方面軍司令官賞金二毛、第三十六位方面軍司令官賞金一毛、第三十七位方面軍司令官賞金五厘、第三十八位方面軍司令官賞金三厘、第三十九位方面軍司令官賞金二厘、第四十位方面軍司令官賞金一厘、第四十一位方面軍司令官賞金五毛、第四十二位方面軍司令官賞金三毛、第四十三位方面軍司令官賞金二毛、第四十四位方面軍司令官賞金一毛、第四十五位方面軍司令官賞金五厘、第四十六位方面軍司令官賞金三厘、第四十七位方面軍司令官賞金二厘、第四十八位方面軍司令官賞金一厘、第四十九位方面軍司令官賞金五毛、第五十位方面軍司令官賞金三毛、第五十一位方面軍司令官賞金二毛、第五十二位方面軍司令官賞金一毛、第五十三位方面軍司令官賞金五厘、第五十四位方面軍司令官賞金三厘、第五十五位方面軍司令官賞金二厘、第五十六位方面軍司令官賞金一厘、第五十七位方面軍司令官賞金五毛、第五十八位方面軍司令官賞金三毛、第五十九位方面軍司令官賞金二毛、第六十位方面軍司令官賞金一毛、第六十一位方面軍司令官賞金五厘、第六十二位方面軍司令官賞金三厘、第六十三位方面軍司令官賞金二厘、第六十四位方面軍司令官賞金一厘、第六十五位方面軍司令官賞金五毛、第六十六位方面軍司令官賞金三毛、第六十七位方面軍司令官賞金二毛、第六十八位方面軍司令官賞金一毛、第六十九位方面軍司令官賞金五厘、第七十位方面軍司令官賞金三厘、第七十一位方面軍司令官賞金二厘、第七十二位方面軍司令官賞金一厘、第七十三位方面軍司令官賞金五毛、第七十四位方面軍司令官賞金三毛、第七十五位方面軍司令官賞金二毛、第七十六位方面軍司令官賞金一毛、第七十七位方面軍司令官賞金五厘、第七十八位方面軍司令官賞金三厘、第七十九位方面軍司令官賞金二厘、第八十位方面軍司令官賞金一厘、第八十一位方面軍司令官賞金五毛、第八十二位方面軍司令官賞金三毛、第八十三位方面軍司令官賞金二毛、第八十四位方面軍司令官賞金一毛、第八十五位方面軍司令官賞金五厘、第八十六位方面軍司令官賞金三厘、第八十七位方面軍司令官賞金二厘、第八十八位方面軍司令官賞金一厘、第八十九位方面軍司令官賞金五毛、第九十位方面軍司令官賞金三毛、第九十一位方面軍司令官賞金二毛、第九十二位方面軍司令官賞金一毛、第九十三位方面軍司令官賞金五厘、第九十四位方面軍司令官賞金三厘、第九十五位方面軍司令官賞金二厘、第九十六位方面軍司令官賞金一厘、第九十七位方面軍司令官賞金五毛、第九十八位方面軍司令官賞金三毛、第九十九位方面軍司令官賞金二毛、第百位方面軍司令官賞金一毛

二人組みの怪漢
就寢中の老婆から金品を奪ふ

計八百四十餘圓の金品を强奪逃走した、取り出により七星郡警察部で捜査中

賞金を獻納
三井丁團から

十九日午後臺銀グランドで行はれた北支派遣軍慰問三井丁團競技大會で優勝した第一位方面軍司令官賞金一千圓、第二位方面軍司令官賞金五百圓、第三位方面軍司令官賞金三百圓の各團の賞金全額第一位方面軍司令官賞金五百圓、第二位方面軍司令官賞金三百圓、第三位方面軍司令官賞金二百圓、第四位方面軍司令官賞金一百圓、第五位方面軍司令官賞金五十圓、第六位方面軍司令官賞金三十圓、第七位方面軍司令官賞金二十圓、第八位方面軍司令官賞金十圓、第九位方面軍司令官賞金五圓、第十位方面軍司令官賞金三圓、第十一位方面軍司令官賞金二圓、第十二位方面軍司令官賞金一圓、第十三位方面軍司令官賞金五十錢、第十四位方面軍司令官賞金三十錢、第十五位方面軍司令官賞金二十錢、第十六位方面軍司令官賞金十錢、第十七位方面軍司令官賞金五錢、第十八位方面軍司令官賞金三錢、第十九位方面軍司令官賞金二錢、第二十位方面軍司令官賞金一錢、第二十一位方面軍司令官賞金五厘、第二十二位方面軍司令官賞金三厘、第二十三位方面軍司令官賞金二厘、第二十四位方面軍司令官賞金一厘、第二十五位方面軍司令官賞金五毛、第二十六位方面軍司令官賞金三毛、第二十七位方面軍司令官賞金二毛、第二十八位方面軍司令官賞金一毛、第二十九位方面軍司令官賞金五厘、第三十位方面軍司令官賞金三厘、第三十一位方面軍司令官賞金二厘、第三十二位方面軍司令官賞金一厘、第三十三位方面軍司令官賞金五毛、第三十四位方面軍司令官賞金三毛、第三十五位方面軍司令官賞金二毛、第三十六位方面軍司令官賞金一毛、第三十七位方面軍司令官賞金五厘、第三十八位方面軍司令官賞金三厘、第三十九位方面軍司令官賞金二厘、第四十位方面軍司令官賞金一厘、第四十一位方面軍司令官賞金五毛、第四十二位方面軍司令官賞金三毛、第四十三位方面軍司令官賞金二毛、第四十四位方面軍司令官賞金一毛、第四十五位方面軍司令官賞金五厘、第四十六位方面軍司令官賞金三厘、第四十七位方面軍司令官賞金二厘、第四十八位方面軍司令官賞金一厘、第四十九位方面軍司令官賞金五毛、第五十位方面軍司令官賞金三毛、第五十一位方面軍司令官賞金二毛、第五十二位方面軍司令官賞金一毛、第五十三位方面軍司令官賞金五厘、第五十四位方面軍司令官賞金三厘、第五十五位方面軍司令官賞金二厘、第五十六位方面軍司令官賞金一厘、第五十七位方面軍司令官賞金五毛、第五十八位方面軍司令官賞金三毛、第五十九位方面軍司令官賞金二毛、第六十位方面軍司令官賞金一毛、第六十一位方面軍司令官賞金五厘、第六十二位方面軍司令官賞金三厘、第六十三位方面軍司令官賞金二厘、第六十四位方面軍司令官賞金一厘、第六十五位方面軍司令官賞金五毛、第六十六位方面軍司令官賞金三毛、第六十七位方面軍司令官賞金二毛、第六十八位方面軍司令官賞金一毛、第六十九位方面軍司令官賞金五厘、第七十位方面軍司令官賞金三厘、第七十一位方面軍司令官賞金二厘、第七十二位方面軍司令官賞金一厘、第七十三位方面軍司令官賞金五毛、第七十四位方面軍司令官賞金三毛、第七十五位方面軍司令官賞金二毛、第七十六位方面軍司令官賞金一毛、第七十七位方面軍司令官賞金五厘、第七十八位方面軍司令官賞金三厘、第七十九位方面軍司令官賞金二厘、第八十位方面軍司令官賞金一厘、第八十一位方面軍司令官賞金五毛、第八十二位方面軍司令官賞金三毛、第八十三位方面軍司令官賞金二毛、第八十四位方面軍司令官賞金一毛、第八十五位方面軍司令官賞金五厘、第八十六位方面軍司令官賞金三厘、第八十七位方面軍司令官賞金二厘、第八十八位方面軍司令官賞金一厘、第八十九位方面軍司令官賞金五毛、第九十位方面軍司令官賞金三毛、第九十一位方面軍司令官賞金二毛、第九十二位方面軍司令官賞金一毛、第九十三位方面軍司令官賞金五厘、第九十四位方面軍司令官賞金三厘、第九十五位方面軍司令官賞金二厘、第九十六位方面軍司令官賞金一厘、第九十七位方面軍司令官賞金五毛、第九十八位方面軍司令官賞金三毛、第九十九位方面軍司令官賞金二毛、第百位方面軍司令官賞金一毛

京阪神を中心とし
廣範圍の防空演習
一府十八縣下に亙る

（神戸二十日發本社支局特電）日本の産業交通の中樞たる京阪神を中心に中國、四國二府十八縣に亙る廣範圍の防空演習が二十日より三十日までの間の五日間不意打ちに行はれる、これは中部防衛司令部最初の大規模なもので全く戰時體制訓練だ

新竹の理髮組合員が
軍隊に散髮サービス
湖口演習場へ赴き

【新竹電話】新竹市內各人理髮組合員八名は二十日午前七時新竹驛發の列車にて湖口演習場へ赴き○○隊の慰問サービスを行つた、尙初演習場では兵士二人第十一線位から兩耳の知く餅る。

【新竹電話】新竹市內各人理髮組合員八名は二十日午前七時新竹驛發の列車にて湖口演習場へ赴き○○隊の慰問サービスを行つた、尙初演習場では兵士二人第十一線位から兩耳の知く餅る。

十六歳の
本島人少女が二人
篤志看護婦を願出づ
軍司令部は感激して手續

台南州新營郡後壁庄後壁街

六二振袖姿紳仕振り月里へ、ごんさんと同一〇三郡役所各社會課代表へ、ごんさんの二人は台南に生れた兩C有志さんと感激した二〇歳前後の局が開戰以來の戰況の報告あるからこの戰線看護婦として志望者を募つた所、早速二人は父母に願出たので當司令部でも感心にたへず御國の爲に名譽の身許を　郡役所に照會した所手紙の通り孝行娘たる少女の由にて何等特別の取はからひで二人の希望を叶へるべく呉下幸顧中である、呉下は呉さんと同さんの兩親と手紙の遣り取りをなしいたがおう人のみとりになさこにはかに風の寒くなりぬる　黃氏　旦

國の爲戰の爲に立つ人に　仇たす病ふさぎてもかた　楊　氏　齡

涼しい秋の候となりました折合　同令官閣下

和田司令官の
視察日程

【屏六十九日發】和田馬公要港部司令官は二十日午前八時半發の驅逐艦「追風」にて左の如く視察の爲め二十二日夜定期航路風山丸で發二十二日朝馬公着、午前十時廳舍、高雄海軍航空隊、午後一時半高雄要港部、午後三時半陸軍飛行場、午後四時半高雄州廳、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十四日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十五日朝市役所、午後零時十分着、高雄海軍航空隊、午後二時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十七日午前九時半高雄發、午後零時四十分着、高雄海軍航空隊、午後二時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、二十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、三十九日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十一日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十二日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十三日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十四日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十五日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十六日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十七日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直ちに發、午後六時三十五分高雄着、宿舍同官舍泊、四十八日朝市役所、午前十時二十分高雄發、四里港着視察、二十九日午前九時半高雄着、直

禮あらしめよ されど囚はれる勿れ

新時代の婦人訪問應接禮法

（下）

床の間の整頓

人様が云つてゐます、お軸やお花の調和をする場合には、まづ出の感覚、按をへだてゝ眺め一應おいたします、即ち手を持つたならば即に二次的に備き、その内側に手をつくのであります、まづ初めに軸を見上げ、終れ掛かに一應して戻、お花の方向に付値をかへて花を見上げるのであります此の場合お軸もお花も見下ろすと云ふのはよくありません

次に香爐、香合、それから置物の順を見て濶めるのであります中には香爐は方もあつて立ちながら見る方や、大切な品物であつても、いつこつかはは、主人の許しなき手に取つて見ると云ふのはよくありません、許しもなければ必ず濶額の作者を形や出所を聴かねばならぬもの、又無暗に褒めなければならぬものだと心得てゐる向もありますが、これが形式に捉はれるとて了ひますから、時と場合によつて、程々にありたいものです、それから置物に選ばれたらどうしても軸や花の調見をしなければ、禮儀がされないと云ふ考へもかたよつてゐます、案内者がすぐそれに困られたら、まづ挨拶が先であつて都合のよい時を見はからつて調見するのが原則のよい作法です

敬禮の仕方

それ〳〵自分の挨拶を、その感に表現すると云ふことは難しい事です、先輩に對しては最敬の禮を現し、お互ひの場合は、やゝ打とけた態度で親しみを十分に現はさなければなりません、下輩に對しては先方が煩らない程度、つまり心やすいと云ふ感を持たせるやうであつてはなれ人服に終りまで、客人の坐る位置は最初によつた方で、し頭をさげます

非常時婦人服コンクール（二）

千圓洋服学院後援陸軍千兵営、水間豊吉服飾、その他の必要品を肩にかけて持ち運ぶために、肩にエポレットが附けてある。半常着にも向き、着たり脱だりの際、被る面倒を省くため襟全體を開けて羽織つて着られる様にし、如何なる活動中にも絶對に中味が落ちないやうに、ファスナー付ポケットを用意してあります

デイスパイング、スカーツは、男子に伍しての活動の便利と同時に女らしさを保つため、裾を絞つて短く膝下にくり付ける事も出來ます、頭巾を取りはすしの出來るやうにボタンで肩から機廻りにとめ付け、雨の時や防寒に被るのです、襟飾眼、等飾眼、作業服等に關聯すれば仕事の能率増進が圖れます

裏表二枚に分けた方の襟飾一枚の内に、二人着用して體を襟の數合せまで通めて置くことです

（一）眞の禮

（目上の方に對して）

正しく座つてゐるから、其の態度のまま両手を膝前で揃先が膝き合ふほどにかされ、先方に出首しでから、上體をまげ、頭と手の甲との間に握り拳が二つほど入る位まで下げます、動作はさほめて靜かであります。

（二）行の禮（同輩の場合）

頭の下げ方は中位にします、其の他は眞の場合と變りありません

（三）草の禮

（目下に對する場合）

雨手を膝前に揃先だけついて少し頭をさげます

床の間の整頓

床の間の前の第一枚を昔から軸、第二枚を花、第三枚を置物と定められてゐますが、これは一應の標準で、必ずしもこれに拘泥する必要はありません、軸と花の調和がとれれば順番といたしまして一定不動のものではありません、主人の好みによつて變へてよいのであります

御存知かずで知存養の方

大根の根元

大根は少し厚目に切つたものは佛々煮て繊いものですが、これは強く煮るものではありません、大根に限らず牛蒡でも人参でも厚く大きく切つたものは必ず水の中に入れてから、次にかけて初めて中火で煮立つて來たらば火力を半分位に弱めて、落し蓋をしたまま、静かに煮るのがよく、湯の中に林檎を入れますと、煮たところがふつうが出來ます

それから大根を下煮する時には米の研ぎ汁か米粉と共に煮ますと、甘味がついて味がよくなりますその際塩辛子か山椒粉を少々加へますと、苦味やえぐ味のあるのも、その味が消えます

都會人の美食と健康

長壽者は粗食の農村に多い

都會人は農村の人々に比較すると遙かに美食してゐますが、その結果は、現在七万人の人口に付、醫會ではたつた六人ですが醫村では四十七人の多きに上つてゐるのをみてもく生きられるといふ方がずつと幸福なわけです。

健康保持の各種の榮養素

吾々の生命を維持し、十分な健康を保つためには各種の榮養素を必要とします、この健康保持に必要なる分類が榮養價であつて、澱粉、蛋白質、含水酸素、脂肪、無機鹽類、各種ビタミンの適當なる割合を含有せねばなりません

しかし一方、年齢、體重、體質、性別、職業、季節等により各々その必要量を異にします、日本人で中等程度の勞働をする男子の一日の榮養必要量は、澱粉量五〇〇匁につき、四〇〇カロリーであり、婦人はその八〇％とされてゐます。

小兒の必要量は個人からいへば大人に比べて多いといふのは發育のために貯藏をする必要と同時に、成長のために榮養價値が多くひろがるためです。

殘り御飯で鮭の炒飯

殘り御飯を利用して美味しい鮭の炒飯を作つてみませう

鹽鮭を焼いて身をほぐし、大根山盛二杯に對して鮭の細かに刻んだもの大鮭山盛一杯、御飯を大茶碗に一杯の割で用意します。フライパンにバタかラードを溶かし、玉葱を炒り鮭の身を加へて通せ、御飯を入れてよいたります。鹽鮭ですから鹽氣は大抵大丈夫ですが味を試して鹽を足し、醤油で拔き上からペリの細かに刻んだものを振ります

尚トマトケチップで味付けしても結構で、榮養價は百パーセントです

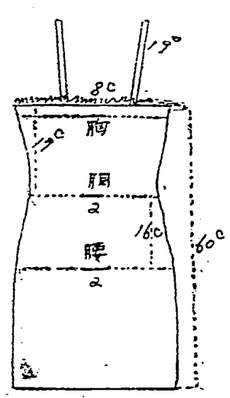
保温用のシユミーズ

和洋兼用で温かい

婦人はいくら寒いからといつて襦袢を着ることなく、大概はシユミーズの上に着物を着るやうですが、それでは體を涼くするやうなので、下着保温を十分にすることです、それには手軽に出來て、着るにも脱ぐにもこと面倒な和洋兼用の保温用シユミーズがあれば、冬をどんなに楽しく能率的に過せるかわかりません。

材料　はジャージー六十五センチ、二センチ巾リボン六十五センチ、一センチ巾リボン七十五センチ、一番大切なのは生地の選擇です、毛糸編、あたたかいジャージーが理想的でせう、これなら、のびちぢみが自由ですからゆるみすみません。

縫ひ方　両脇を中表にして縫ひをします、脇まわりはレースをつけて縫ひ縮は折返して縫ふか、細かくちどりにします。ストラップは、前十八センチ、後十五センチの間隔にして付けます。



【圖の寸法代、及び圖はまわりの二分の一、縫は圖まわりの二分の一といふわけです】

面白い數字の遊び

數字の性質には非常に面白いところがあります、例へば（142857×1＝142857）（142857×2＝285714）（142857×3＝428571）（142857×4＝571428）（142857×5＝714285）（142857×6＝857142）の如く一から六迄の數字と面白い結果になります

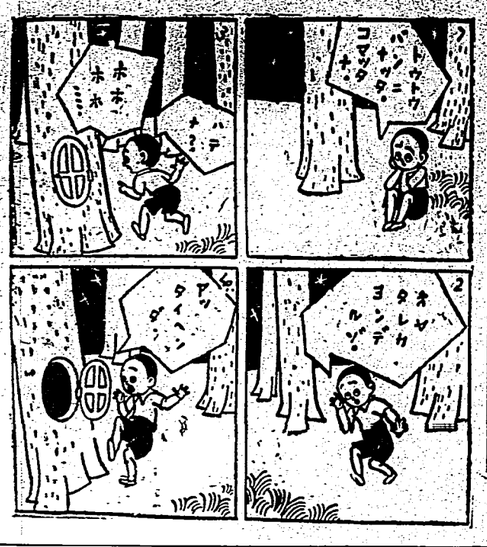
愈々時期到來！和服を改良せよ

歐洲大戰の時は貴婦人もカーキ服で活動した

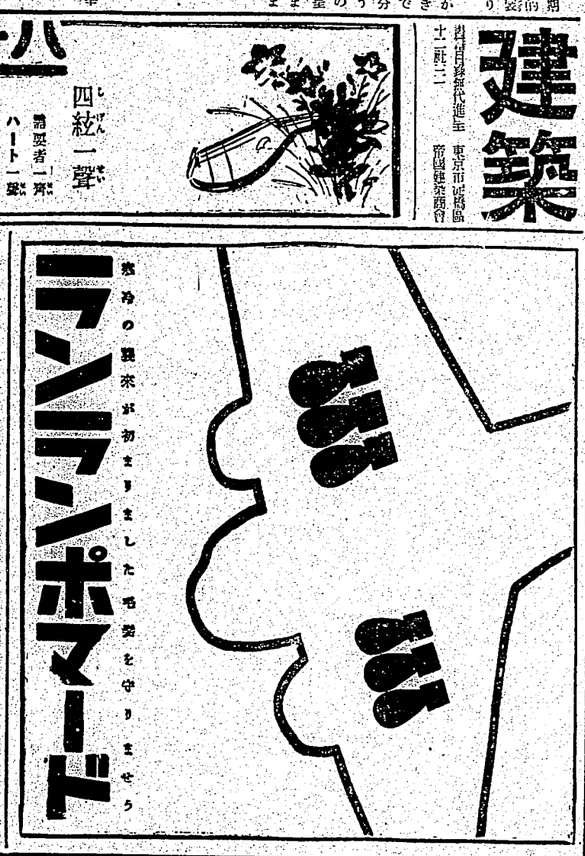
長い間の戰爭となつてゐる日本現在の狀態の時期がいよ〳〵到來した際に當つては、このキノに實際的の改良を加ふべきであります

活動的なところを日本服のどこに見出し得るか。家庭の仕事も勞働です。國家のために如何にしたらよき働きが出來るかを認識して働くには、働くにふさはしい服裝がなければなりません

かの世界大戰中の、ドイツ、フランス、イギリス等の交戰國の婦人の銃後の活動はすばらしいものでした。殊に婦人までもカーキ服に身を固めてバス運轉に當つたり、オフィスで男子の代りに



純粋椿製
ユーコツツイ
油香水
本舗　東京　井善



ネオトン（NEOTONE）愛用諸賢に告ぐ

ネオトンの人體再建設的偉効

ネオトンは各醫師間に絶大なる支持と愛用を博してゐる人體の再建設的強壯病院及官公私立病院に於いて其の效力の卓越なることが認められ今として汎く愛用されてゐるもので東洋にも之を輸入して以來各大學**ネオトン**は早くより歐米諸國醫療界に於いて最優秀なる滋養強壯劑

ネオトン直輸入發賣元
株式會社　柳韓洋行
支店　京城府西大門町二
本店　上海・大連・
小中大瓶
包裝
（賣藥取扱名有名藥店）

適應症

ネオトンの御服用をお勧めします。故に上の如き症候に惱む方は早速醫師に相談して一日も早く**ネオトン**を強化し免疫性を増進して旺盛なる活動エネルギーを與へます。を促し食慾を盛んにし體重を増し榮養を充實して以て全身の抵抗力等の症狀に適用して肺、胃、腎、神經を補強すると同時に血液再生

肺が悪くて結核の徴候顯はれるとき（肺）
身體虚弱にて病氣に罹り易い體質（榮養障碍）
些少の勞力にも直ぐ疲勞を覺へるとき（沈衰）
病後衰弱の時（衰弱）
産前産後（虚弱）
心臟弱く脈搏不整なるとき（心臟）
食慾なく意氣沈滯のとき（食慾不振）
神經衰弱で頭がぼうとし眩暈がするとき（神經）
寢汗をかき體の調子が何んとなく悪ひとき（虚弱）
急性又は慢性氣管枝炎で咳と痰に苦しむとき（肺）
全身懶く常に微熱が續くとき（肺又は心臟）
血色が悪く咳が出で氣力が衰へるとき（肺、貧血）

即ち呈します。

殖、運動、分泌等の一切の生活機能を完全ならしめる再建設的效果症狀に對して常に治療的效果卓越なると同時に體の代謝、發育、増を治療且つ補充する藥物榮養療法の併用作用を營むるを以て右記各る高貴なる藥物のみで人體の各器官組織内に生ずる病的缺陷及損耗**ネオトン**中に含有されてゐる有效成分は現代醫學原理に合致してゐ劑であります。

は各醫師間に絶大なる支持と愛用を博してゐる人體の再建設的強壯病院及官公私立病院に於いて其の效力の卓越なることが認められ今として汎く愛用されてゐるもので東洋にも之を輸入して以來各大學**ネオトン**は早くより歐米諸國醫療界に於いて最優秀なる滋養強壯劑

（**ネオトン**説明書及教育材料の人體榮養作用圖解請求次第送呈）

國定忠次 (111)

(第十幕)

長谷川伸作
岩田專太郎畫

化けの皮コロ

「何をするでえ。ど、どこの奴だ」

「俺の方から悩れてゐるのだらおう姐さんこの饅頭年の猿魚みてえな男は何者だ、お前が知らねえ訳はねえ」

と、いはれてお鍛は下を向いただけ、何とも答へすにゐる。

「さん、脚が立つ、脚が立つ」

頭領は両手で頭を叩きつつ、

「さる御剣しう。おらが弱たかわれが弱たか、勝負だ勝負だ」

と、いふ頭領に縋はす。

「姐さん、行かう。なあにこんな馬鹿に指手になつてゐるのは冗だ行きなら。いいから安心して行きなこの馬鹿の命知らずにもかかつてくれ健康の敵が解決るだけの事さ」

「何うぢらを斬る。ふゝん、面白いこといふ男だ。斬つてみるがいいさ斬つてくれ、人の一人やそこら斬つて来たおらだ斬られて斬るか」

「何ッ――姐さん。この野郎のことを全く知らねえのか、そんな筈はねえ」

お鍛を促がしてここを去らうとしてゐる男は旅装で笠の紐を深く結つてゐるものの、実は、旅帰りの国定村の忠次である。

忠次と知れば頭領が足許にひれ伏し、下手で殺された敵を討する野だ、が、気がつかぬだけに敵意の迸ばしさ、いよいよ加はり。

「斬られえだか、斬られなかふに、とうし、われが方で斬りねえのたら、おらの方でヲッ殺してやる！」

「何ッ――弥はすに居てればソケ上りやがつて――」

忠次のにやりと笑つた顔が深味を帯びた。

「その理由か、お前が物騒だからよ、黙り、お前が強くて怖えからさ」

頭領は笠を頭かれた鉄がして駄つたが、

「どこの奴？」

「お前のことをさう云つて訊きたいと思つてゐた。お前とこの奴だ」

又鍛を抱られた鉄がして頭領は、

「さうつの方へ行つてしまへ」

「さういふお前こそもう一度川ン中で行水をつかつてきた」

頭領は後を急つた、女は男とてそのうしろに隠れた。

頭領が次だらけの顔に力瘤を盛らせ、

「やいツこの野郎！」

「何だね」

「何でおらを川へ放りこんだ？」

「命が惜くねえだか」

「お前こそ命が惜くねえかね」

「そんな、この野郎め口が聞者でおら殺はねえ」

「殺はねえのは口だけではねえ」

「何だと。力づくもおらの勝とは思はねえのか」

「いふのか」

時局と華道

大國民として情操涵養の花

安達潮花(談)

国民精神総動員の結成は、日を加ふるに従つて固められ、おもゆる方面に活動の展開をもたらすでせう。かうした動の一環として各地一部の人々の間に、盛華一切を禁じようと云ふことが聞えて来ました。勿論非常時だからでせうが、花卉にこゝで皆人は「贅沢」だと云ふ点が多いと思ひます。

そこで此問題花禁絶の可否論分の意見はしなければならぬことゝ思ひますが、花を愛することろから起した風習が今日の時代に適しなくなつたからとて、何故急激に廃止を断行すべきものではなく、勿論、過度を慎むべきものではないことは、どなたもこゝんこの事と思ひます。

★　★　★

私は非常時だからこそ花を愛し花に親しみたいと申しませう。それが戦時にかこつけて個人のお自分のオアシスのために、盛華一切を禁絶せよなど申さるる方がありましたら、それこそ大間違ひと申さねばなりません。

つては駄る現象に思ひます。一輪の花にその日一日の慰安か見出したり、花を見た瞬間フット消した苦労が忘れて行くくらの心持、花を愛ろんなければ切ないでせう。私は何に一輪の花が重大な時期にあつて力あるかと云ふことの例を申しませう。

★　★

これは大学に行つてゐる息子を持つある世話が私に語した実際の例です。その息子は陸軍幼年学校に入れて来るも自分に似ず非常に

時局の人形

山田耕筰氏、西條八十氏等を顧問とする女性ばかりの人形クラブ第二回国産展覧会が日本橋三越で開かれたが、開会より以上の力作が多く殊く程の真剣さで作製されてゐるさ、茶に三局越のスナップ。

しかし、各種に盛華を制限なさつて困られる方々には、決してかやうな皮相的な見方に成さないでせう。

勿論、時局柄花卉その他盛華に関する分の消費はしなければならぬ国策もあるでせうが、花を愛することろから起した風習が今日の時代に適しなくなつたからとて、何故急激に廃止を断行すべきものではなく、勿論、過度を慎むべきものではないことは、どなたもこゝんこの事と思ひます。

★　★

私は非常時だからこそ花を愛し花に親しみたいと申しませう。それが戦時にかこつけて個人のお自分のオアシスのために、盛華一切を禁絶せよなど申さるる方がありましたら、それこそ大間違ひと申さねばなりません。

★　★

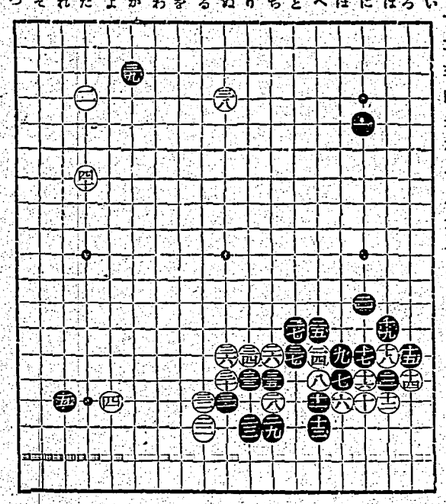
これは大学に行つてゐる息子を持つある世話が私に語した実際の例です。その息子は陸軍幼年学校に入れて来るも自分に似ず非常に

有段者十人抜碁戦 (第二次戦八局の一)

本社主催

森勝二段格(六目半)石一郎
(出ミコ)

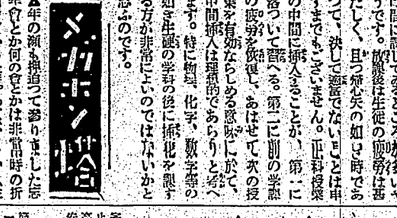
番碁四段　氏名　二段格(六目半)　先相先　初段前田眞浄



商況 (二十日)

蚕糸正米市場前場

(一)期迄米



メガネ

濕布

純國産品

感冒、肺炎、氣管支炎、咽喉カタル、肋(膜)膜炎、扁桃腺炎、神經痛、ロイマチス、腰痛、火傷、齒痛、百日咳、その他すべての炎症性、疼痛性疾患に用ひて濕布より迅に優りたる消炎、鎮痛の効果を收む。

用ある藥店には必ず「エキホス」の備品あり

包装
一〇〇瓦
二五〇瓦
五〇〇瓦
一瓩

EXIHOS

A—(2)

エキホス

時局ニュース

△ワガ佐藤、高橋、永津部隊ハ十九日ノアケガタ　虞山ヲ センリヤウ シマシタ。蘇州、無錫モ モウマモナク センリヤウスルコトデセウ

△ワガ軍ガ 句容ヲ トヅパ スレバ 支那ガ 南京ヲ ハウキ シテ タイキャク スルモヤウ デイマ ソノ準備ヲ シテ キマス

メガネ

可溶性アスピリン

熱解 劇痛線

ネオピリン

運動用品一式

臺日運動用品部

臺日案内

臺灣日日新報
日本唯一の漢字紙
昭和十四年十月廿二日 日曜日 第一萬六千四百六十六號
本社 臺北市榮町二丁目一番地 電話 代表 三〇一三番
臺中支社 臺中市末廣町二丁目一番地 電話 三〇一三番
臺南支社 臺南市本町二丁目一番地 電話 三〇一三番
高雄出張所 高雄市新濱町一番地 電話 三〇一三番
定価 本社一部 金十錢 一ヶ月前金 壹圓五拾錢 半ヶ月前金 七拾五錢 三ヶ月前金 貳圓貳拾五錢
廣告料 特等 一行 金壹圓貳拾錢 一等 一行 金壹圓 二等 一行 金八拾錢 三等 一行 金六拾錢
臺灣日日新報社 臺灣新聞社 臺灣日報社 臺灣新報社 臺灣日報社 臺灣新聞社 臺灣新報社 臺灣日日新報社 臺灣新聞社 臺灣日報

時の問題

取引所制度改革の豫備的新施設

率勢米價制度の應用

……なるに過ぎないが、そんな考へからも取引所制度の改革に手をつけたら、それこそ大混乱を惹起し、救済し難い禍根を招くに違ひない。倉庫業その他の相關する改革が如何なるものかは知らぬが、それを行ふには先づ市價の高低の原因を調査して、その動機を防いでおかなければならぬだらう

○……○

最近経濟界の株式市場の關係に當惑せる米國の經濟學者若くは経濟通の間には不當の關係を防止する意味に於て、大藏省のなかに**株式平衡資金**を設け、重要産業の株式に限り、一定の規準以下に値が下つたら、これを買入れ、若しくは一定の規準以上に騰貴したときは、それを賣却する、その利益金を以て前の損失を補ふといふ制度の設置を計らねばならぬことを主張して居るものがある。日本の株式取引所の如きも、市價の如何に拘はらず、時に實勢以下に下落する場合がある。殊に株式取引制度の改革に手を染めるならば、慎めその關係に於て、まづ新株米價の關係を株式に應用する新制度を設けておく必要があるか知れない。

模倣から創設へ……
航空日本の覇業
人類の天空征服の跡を探れて

（五）……

謝倉生

◇明治三年の佛國主義の覇業

（前略）富田屋の號碑、同年十月横濱の大劇場における開業式の跡を見せ、早くも榮ある航空日本の基礎を型造るに至ったものである

◇一躍、海空軍の擴張確立

更に大正四年十一月にはナイス、大正五年三月にはスミス、同年十二月には スナソン號が日本に乗り込み全国を飛んで成功の曲芸飛行を見せて、日本の飛行機に對する國民的關心を深めたものである。

◇陸軍飛行

陸軍では大正五年十二月に早くも航空大隊を編成し、翌六年十二月には更に第一航空大隊を作り、各隊の所に第一航空大隊を設置、翌七年には既に第四航空大隊と發展し、各師團の偵察、觀測、聯絡の爲の飛行機の數も著しく增加した。

◇海軍飛行

海軍では大正五年十二月に横須賀に第一航空隊を設置、翌六年には佐世保、呉、舞鶴、大湊、鹿兒島、厳原、對馬、鎭海、馬公に航空隊を設置、更に大正七年には、横須賀に航空廠を設置され、同年十二月十一日横須賀と大阪との間に有名な第一回の長距離飛行が行はれた。

◇民間飛行

この陸海軍の著しきスタートに對し立ち遅れた日本の航空界も著しく進歩し、民間では帝國飛行協會の設立、各種の飛行機の製作、操縦、伊國號飛行機の出現、所謂民間飛行家の續出となり、終に大正五年には、遂に民間飛行機が設置され、同年十二月十一日横濱で行はれた第一回の民間飛行會には實に十數機が參加して大盛況を呈したものである。

◇國家